総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　④観光分野（7/7）

	評価区分（※）	評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 総合評価	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
環境観光モデル都市づくり推進特区（広島県）	正	2.7	2.3 進捗度 ・世帯あたりにおけるCO2排出量 14% ・環境学習等を目的とした産業観光客数 68%	2.9 規制の特例等 ・住宅（社宅）における直流配線に関する基準の明確化 ・改造電気自動車等のバッテリーから家庭への給電に関する基準の明確化 地域独自の取組 ・広島県総合特区事業費補助金 等	2.8	・「環境学習を目的とした産業観光客数」については、かなりターゲットや戦略、体制が明確になった点が評価できる。今後、現在の戦略の成果が現れる事に期待する。 ・EVの普及、充電インフラの整備が全国的に遅れているため、効果が出にくいのはやむを得ない。充電箇所と観光目的地を一致させる等、観光客の利用促進に繋げる工夫が必要。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。